

事 務 連 絡

令和3年11月26日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課  
各都道府県私立学校主管課  
附属学校を置く各国公立大学法人担当課  
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課

御中

文部科学省総合教育政策局国際教育課

「アジア高校生架け橋プロジェクト」について（御協力のお願い）

日頃より、高校生の国際交流に関し御尽力賜りまして、厚く御礼申し上げます。

文部科学省補助事業「アジア高校生架け橋プロジェクト」は、来年度に5年目を迎えます。

本事業は、2017(平成29)年6月5日に開催された国際交流会議「アジアの未来」の安倍総理大臣スピーチにおいて、「日本語を学ぶアジアの高校生たちに、10 か月、日本で暮らせる機会を提供します。規模は今後5年で1,000人。」との発言がなされたことを踏まえ、アジア諸国で日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高等学校に招聘し、日本人高校生との国際交流を深めることを目的としており、公益財団法人AFS日本協会が事業の受託者として実施しております。

今年度は、当初8月から8か月間の招聘を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により来日を延期していたところ、本事業の高い公益性が認められ、本年10月から入国を開始し、全国各地の高等学校での学びや交流を開始しているところです。受入れに御協力いただきました皆様、また、受入れについて御検討くださいました皆様に対しまして、深く感謝いたします。

5年目にあたる令和4(2022)年度においては、約250名を、令和4(2022)年6月から令和5(2023)年3月までの10か月間、受け入れる予定でございます。

今後、令和4(2022)年度事業実施に向け、当該AFS日本協会から教育委員会や高等学校に対して、生徒の受入れ等に関する相談や依頼を行ってまいります。本プロジェクトは、我が国の高校生にとって、国内にいながらにして国際交流を深めることができる貴重な機会となることから、当協会より高校生の受入れの協力の要請等があれば、引き続き積極的に御協力いただくとともに、グローバル人材育成関連の取組と連携する等、これまで以上に効果的な取組を進めていただきますよう併せてよろしくお願いいたします。

本プロジェクトへの御質問、御要望がございましたら、下記まで御連絡いただけるようお願いいたします。

公益財団法人AFS日本協会

担 当： 中村（ナカムラ）、水本（ミズモト）

E-mail： [asiakakehashi@afs.or.jp](mailto:asiakakehashi@afs.or.jp)

電 話： 中村（090-8462-6396）、水本（080-4680-2935）

<https://www.afs.or.jp/about-afs/programs-jutaku/asia-kakehashi-project/>

なお、貴管下の市町村教育委員会、高等学校、中等教育学校（後期課程）に対し、本件を周知いただきますよう、何卒よろしくお願いいたします。

（参考資料）令和4（2022）年度要求額 「アジア高校生架け橋プロジェクト」

本事務連絡に関するお問い合わせ先

文部科学省総合教育政策局

国際教育課国際理解教育係 濱部、入川

電話： 03-6734-3487

E-mail： [kouryu@mext.go.jp](mailto:kouryu@mext.go.jp)

背景  
 課題

「日本語を学ぶアジアの高校生たちに、10か月、日本で暮らせる機会を提供します。  
規模は今後5年で1000人。」

平成29年6月5日に開催された第23回国際交流会議「アジアの未来」の安倍晋三総理大臣スピーチにおいて、日本語を学ぶアジアの高校生たちに、10か月間日本で暮らせる機会を、今後5年に1000人規模で提供すると発表。これを受け、平成30年度より「アジア高校生架け橋プロジェクト」を開始。

## 事業内容

- アジア諸国で日本語を学ぶ優秀な高校生を半年から10か月程度、日本全国の高校に招聘。
- 日本各地でホームステイや寮生活をしながら日本の高校生と共に学び合い、国際交流を深める。
- 休日には文化体験、地域交流、国内企業での体験学習や視察等も実施。
- 互いの国に精通したリーダー、架け橋となる人材の育成を目指す。

	第1期生 (平成30年度)	第2期生 (令和元年度)	第3期生 (令和2年度)	第4期生 (令和3年度)	第5期生 (令和4年度)
招聘人数	100名	200名	178名	250名	250名
招聘期間	6か月	8か月	5か月	6か月予定	10か月

- 実施団体：民間団体等（平成30年度～令和3年度：公益財団法人AFS日本協会）
- 事業期間：5年間
- 支援内容：招聘生の選考・研修に係る経費、渡航費、高校やホストファミリーでの受入に係る経費、招聘に伴う新型コロナウイルス感染症対策経費等



## アウトプット(活動目標)

- ・ 当該事業により、日本に招聘した高校生数

## アウトカム(成果目標)

- ・ 日本人高校生の海外留学生数を6万人にする  
(高校：3万人→6万人)
- ・ 将来留学したいと思う高校生を増加させる

## インパクト(国民・社会への影響)

- ・ 将来の留学や社会生活を通じた、互いの国の架け橋となる人材の育成
- ・ 招聘生の出身国に対する理解度が高まることによる、異文化理解の醸成
- ・ 留学機運の醸成